



「新刊紹介 1月号！！」

「名も無き世界のエンドロール」 行成 薫



ドッキリを仕掛けるのが生き甲斐のマコトと、それに引っかかってばかりの僕は、小学校時代からの腐れ縁だ。三十歳になり、社長になった「ドッキリリスト」のマコトは、「ビビリリスト」の俺を巻き込んで、史上最大の「プロポーズ大作戦」を決行すると言い出した。

「シグナル」 山田 宗樹



宇宙から届いたシグナルとは？史上初めてのと曰蓋知的生命体が確認された。三百万光年先から地球へ向けて送信されるシグナルの正体とは？かつてない事態に直面した人類に、「彼ら」は何を伝えようとしているのか？果たして地球の運命は。

「中学の勉強のトリセツ」 梁川 由香



定期テストも、高校入試も、内申対策も、やり方を知れば中学の勉強は難しくない！！全教科のポイント、使える参考書、やる気の出し方などなど・・・中学の勉強のすべてを一冊に。

「お探し物は図書室まで」 青山 美智子



お探し物は、本ですか？仕事ですか？人生ですか？悩める人々が立ち寄った小さな図書室。無愛想だけど聞き上手な司書さんが思いもよらない選書と可愛い付録で人生を後押しします。

「ぼくもだよ。神楽坂の奇跡の木曜日」 平岡 陽明



「読書はどんなに孤独な行為に見えたとしても、人や世界とつながる事です」神楽坂に盲導犬と住むよう子は、出版社の担当・希子と隔週の木曜日に、打ち合わせを兼ねたランチをするのが楽しみだ。書物への深い愛、物語への強い信頼、それを分かち合える大切な人。本に込められた“想い”を伝えていく。

「なぜ、読解力が必要なのか？」 池上 彰



読解力を伸ばすと生き方が変わる。情緒と論理ふたつを使いこなそう。たのしく読解力を上げるには、やっぱり読書。

